



# 兵庫県内海漁船保険組合 専務理事 浅井 政治氏 栄えある大い功績者表彰受賞



去る十一月二十六日、昭和六十一年度大日本水産会水産功績者の表彰式が、東京都三会場ビル石垣記念ホールにおいて、佐竹五六水産庁長官臨席のもと、厳粛裡に挙行され、浅井政治兵庫県内海漁船保険組合専務理事は、水産功績者表彰を受賞した。本年度の被表彰者は、三十七名であったが、浅井専務は、保険共済、流通、加工、冷凍関係者八名の代表として、亀長会長から表彰状が手渡され、ここに、多年にわたる、漁船保険制度の啓蒙、

加入の推進に挺身し、兵庫県瀬戸内海区における漁船保険事業の発展と今日の組合運営の安定を築くと共に、漁業者の経営安定と福祉の増進を図り、更に漁船保険中央会の要職にあつて、また関係委員会に参画し、指導的役割を果たし、漁船保険業界の進展に寄与したとして、その功績が認められたものである。

なお、浅井専務は、この度の栄えある受賞に対し、「唯、自身に与えられて使命、すなわち漁船損害等補償法の主旨をよく理解し、誤りなくその業務を遂行しただけのことであり、関係各位のご指導、ご協力によるものと感謝している。今後は、この受賞を励みとして、漁船保険はもとより、兵庫県水産業界のため、更に精進したい。」と新たな決意を述べられた。

## 第31回 兵庫県漁協婦人部大会 11月11日開催

去る11月11日(火)、神戸市立水産会館大ホールにおいて、県下漁協婦人部員等約200名参加のもと、第31回兵庫県漁協婦人部大会が盛大に開催されました。

午後からは大会宣言の朗読、県漁協連の上の歌斉唱、綱領唱和が続いて、県漁協連吉川会長より挨拶が述べられた。また、来賓を代

## 第34回兵庫県漁村青壮年活動実績発表大会 岩見漁協友水会が全国大会へ



第三十四回兵庫県漁村青壮年活動実績発表大会が去る十一月二十二日、県立水産会館において、青壮年部員ならびに水産関係者一〇八名の参加のもと開催された。

この大会は、県下漁協青壮年部が日頃の実績を発表しあい、今後

海く栽培漁業をきずく人々へ、「エチオピアから天使がやって来た」の2本を上映。栽培漁業の重要性、人々を思いやる心の大切さを訴える映画でした。

審査講評、表彰式に続いて、満場一致で採択された大会決議の朗読が行なわれ、県漁協連播磨副会長より閉会の挨拶が述べられ、大会は閉会しました。

なお、今回の大会で発表された方々は次のとおりです。

播磨地区代表 富島漁協婦人部 中之内紀子 さん

審査の結果 竹野浜漁協婦人部発表の「作業改善から記帳へと夢は限りなく」が全国大会へ推薦され、他の発表グループともども今後の活躍が期待されます。

正博) 二、宇和島市青年協会の活動について 兵庫県漁青連(田中孝) 技術交流報告 一、観光漁業と漁場管理について(神奈川県伊保漁協水産研究会(早川博邦)) 研究活動実績発表 一、夢から現実へ、バカ貝資源管理型漁業の模索(谷川博一) 二、抱卵ガザミの保護は我々の手で、(ガザミ)

岩見漁協友水会(神頭正志) 三、アワビ海中間育成試験 香住町漁協青壮年部(磯田和志) 以上のように本大会も例年に勝るすばらしい内容で、審査員の頭をかなり悩ませたようだった。その中で岩見漁協友水会発表の「抱卵ガザミの保護は我々の手で、(ガザミ)が全国大会へ推せんされた。

### 全国漁業協同組合学校が来年度生を募集

全国漁業協同組合学校ではこのほど昭和六十二年度の学生募集を開始した。募集人員は五〇人で、出願書類は各漁連会長に入学選考料一万円を添えて明春一月十日から二月十二日までの間に提出することになっている。

入学案内と学生募集要項のあらましを紹介すると次のとおり。

学校の目的と特徴 協同組合における教育事業の重要性にかんがみ、漁村の中核体である水産業協同組合の役員として漁村建設の先達となる人材の養成が目的。このため広範な知識の修得、高度の能力とあわせて漁協運動の明日の担い手として自主、自立、互助の精神を体得させることに力を注いでいる。

また、この教育の一面の効果を図るため少人数教育とし、全寮制のもとに連帯意識の育成、協同精神の涵養に努めている。

修業年限は一年。(学生募集要項)

1、募集人員 五〇人  
2、出願手続  
(1) 出願書類  
(2) 入学願書  
(3) 卒業成績証明書  
(4) 身体検査書  
(5) 保証書

提出先及び提出期間 漁業協同組合連合会長に入学選考料(一万円)を添えて、一月十日から二月十二日まで提出。

3、選考方法 書類審査、学科試験及び必要に応じて面接を行い、入学者を決定する。

(1) 学科試験 (2) 国語(現代国語) (3) 社会 (4) 数学 (5) 作文 (6) 試験日時 昭和六十三年三月五日(木)午前九時

なお、本校の住所・電話番号は次のとおり。 〒117 千葉県柏市豊町一四一五 TEL0477-1144 四一八二五〇六

のりテレホンサービス  
☎ (078) 942-1534

富島漁協婦人部  
中之内紀子 さん

# 「漁協の共済」元受組合長会議開催

## 61年度下期 特別推進運動の気運高まる

「漁協の共済」元受組合長会議が、去る11月14日(金)、神戸市北区有馬町、池之坊満月城において、県内元受漁協の組合長を中心に約40名が出席して盛大に開催された。会議は午後2時に開催、岸所長代理の司会ですすめられ、まず主催者として西上所長があいさつ、「漁協元受になった共済事業をいかに推進していくか、本日、元受漁協の組合長の皆様とよく協議をなさね、後で講義、体験発表も行なわれますので、充分ご参考として、一日も早く充実した元受組合として体制を整えていただきたい」とお願いした。ついで来賓あいさつ、役職員にノルマを与え加入推進している塩田課長補佐から、



挨拶する西上所長

職員会議で共済推進を決議し、内勤職員で一人5件ずつ割当てていく。年度末には相当な結果がでると期待している。かなり普及しているため、過去の小型チャコを乗り換えて、大型保障に切替えていきたい。等、活発な意見交換がなされました。その後「漁協事業としての共済とその取組みについて」のテーマで共済連本所教育指導部長田坂巨氏から講演があり、「生・簡保険」

で保険普及率が100近い中で、新規加入率が毎年世帯数で50%程度の実績をあげている現状をみると、漁協の共済の普及にはまだまだ割込む余地がある。又共済事業と信用事業は果たす役割が違うため全く競合しない。かえって、他の生命保険会社に流出していった資金が、共済に加入する金とによって、満期時に漁協貯金となって蓄積される。」等の内容で話された。次に津居山港漁協組合長木下清氏から「漁協の共済」推進体験発表があり、内容は次のとおりでした。「先ず、全水共時代からこのため仕事とい考え方を漁協の共済事業であるとの考えに

### 昭和61年度

### 漁協女子職員研修会を開催

#### 於神戸市教育会館

兵庫県漁連では、漁協女子職員の資質の向上と、明るい職場づくりを目的として、11月15日、神戸市教育会館



に於いて漁協女子職員研修会を開催しました。第二回目の開催となったこの研修会には、北は但馬、西播磨、



## 海区漁業調整委員会だより

力の現状報告がなされ協議の結果、引き続き協議することになりました。理能力に及ばない子細な検討が行なわれた。

### 十月十七日

但馬地区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

一、日本海漁業調整委員会連絡協議会について

十月一日、石川県で開催された、日本海漁業調整委員会連絡協議会の概要について報告がなされました。

二、ずわいが不移殖放流及び、ひらめ稚魚放流について

大和堆ずわいが不移殖放流調査結果及び、ひらめ稚魚放流結果等について、但馬水産事務所試験研究室より報告がなされました。

農業協同組合

新鮮な兵庫の野菜を食べてくださいー

食べたい野菜、ハクサイ、タマネギ、キャベツ、ピーマン、ネギは生産額(五十九年度)で全国ベストテン入りしています。そのほかトマト、イチゴ、ダイコン、ナス、ホウレンソウなども各地で生産されています。

あなたも「兵庫の野菜」を使って、今晚の夕食を工夫してみませんか。

生活協同組合

一九八六年度兵庫県生協大会を、十一月六日(木)午前十時三十分から兵庫県民会館九階ホールで開催しました。

会場には県下の生協の組合員や役員など約四百五十人が参加するなか、まず恒例となっている生協功労者表彰(兵庫県知事感謝状と兵協連会長表彰)が

言する会議は、従来の置き換えるということが基本となるので、経理面の改善、推進担当者の設置、推進体制の整備強化を実施し、現実の実績が得られ、しかし、地元農協の共済推進方策、特に加入者への演劇招待などの奨励方法に対して、漁協側がかなり遅れている。又、制度内容の改正を促すも、他の生保、損保より後手に回っている。このため、これからの普及活動をすすめるには、加入者から喜ばれるような共済商品開発、工夫をこらした奨励方法など課題が残っている。」

以上、会議は熱気を含んだ中で無事終了しました。最後に出席組合長から「このよう漁協指導者が主に成果をおさめました。」

立派な活動センター館長・片山雅夫氏の紹介の後たまたま講演に入りました。演題「女性の生き方」は、先生が平常感じておられることを中心として、子供への最大のプレゼントは何か、大事なあいさつ、相手をはめる、夫の心掛けにより職場が大きく変わってくる、研修の成果を、明日からの助けとしていただきたいとの挨拶がありました。午後からは、スライドを中心に「来客の対応」「電話の対応」について、県漁連、岩崎、齋藤副部長より講話があり、全員新入社員になった気持で研修を終りました。



